

「入れ墨お断り」再考しては

高校生 渡邊 英之

(東京都 17)

の掲示だ。入れ墨によい印象があるわけではない。しかし、そ

この時期になると毎年、違和感を抱くものがある。多くの銭

湯やプールで見られる「入れ墨

(タトゥー)がある方お断り」

う人がいるのは分かる。ただ、ファッションとして入れ墨をす

る人は増えているし、外国では

入れ墨が伝統文化のところもあるようだ。ただ単に「入れ墨を

している」というだけで利用を断るのは、差別につながる

現在、国内でもあらゆる分野でグローバル化が進められてい

る。2020年に東京五輪・パラリンピックもあり、外国の方

にも居心地がいい国を目指して

いる。差別にもつながるような

のではないだろうか。

「入れ墨お断り」は、議論の余地があると思う。